

広報

だんち

2019
10月号

NO. 453

(協) 焼津水産加工
センター 発行
焼津市惣右工門1280番地の2
編集・総務係
発行・令和元年10月31日
TEL・054-624-2111
FAX・054-623-3834

HP・<http://www.yaizufpc.or.jp/>

10月団地の言葉

「想定外」備えておけば
「想定内」

今月12日(土)に上陸した台風19号により、加工団地内の組合施設や組合員企業が浸水によって甚大な被害を被りました。

何社かの組合員は通常時の数割減といった状態でなんとか操業を再開され、ゴミの片付けや浸水した設備等の状態を経過観察しつつ完全復旧を目指しているところだと思えます。

組合事務所では数日間ネットや電話設備が使用できず外部との通信が不能な状況にありました。

また組合の車両も浸水によって廃車する事になり、しばらくは職員が個人の車両で外出せざるを得ない状況が続いています。

筆者は消防団で12日の朝には招集がかり、団地内も巡回しましたが午前10時過ぎにはかなり水位が上がって吉永街道以

東の道路が20cm近く冠水しており、車両での通行が困難な状況でした。その間に何名かの団地従業員の方達から被害状況確認の電話やメールが届きましたが「団地に入って行ける状況ではないので明朝確認に来た方が無難です」としかお伝え出来ませんでした。

午後には「城案寺川が越水したらしい」との連絡が入りましたが、待機していた消防団員も下手に身動きできる状況ではなく詰所で本部からの無線を聞きながら心配する以外できる事が無く、歯がゆい思いをしていました。

夜になり台風のピークが去った後も地域内の避難所には大勢の方達が帰宅できずに不安そうにしている姿が見られました。

筆者も解散指示を受けたものの自宅周辺の道路が冠水しており危険なので帰宅する事が出来ずに団の詰所で夜を明かしました。

組合では数年前にBCPを策定しましたが、今回の様な規模の風水害を想定し見直しをせざるを得ないでしょう。

今月の団地に言葉にある通り「備えてお

けば想定内」、想定内であれば被災しても被害を最小限に留める事が可能ですし、例えば被災してもその後の復旧までの時間が短くて済むのではないのでしょうか。
今月の団地の言葉は仲吉さんの作品です。



(10月12日の団地周辺)

今月の紙面

P2 10月の定例役員会／実習生移行試験を実施しました／実習生救護訓練に参加

P3 工団連視察研修会に参加／管理者養成学校に参加／新入職員のご紹介／インフルエンザ予防接種のお知らせ

P4 団地見学者のご紹介／今月の1枚

10・11月組合行事予定

11月11日(月)

定例役員会

11月の暦

11月3日(日)

文化の日

11月23(土)

勤労感謝の日

◆10月の定例役員会◆

10月8日(火)午後、組合事務所にて10月度定例役員会が開催されました。

1. 焼津水産会の一般社団法人化における手続きについて

当組合を含む市中の水産系組合が構成員となっている焼津水産会について、一般社団法人化への手続きについて説明し了承。また、当組合が担当として推進する同会における新規事業「外国人材支援」についても併せて説明。同会の一社化が成ったのちに支援機関登録申請、或いは事業内容・体制の整備に取り掛かるとして、全員の賛同を得た。

2. 労務対策委員会 審議事業について

諮問機関である労務対策委員会にて、当組合技能実習生受入事業における送出機関の複数化について審議。既存送出機関との関係も維持しつつ、まずは一度新たな送出機関で受け入れてみて、継続如何はその後判断するものとした旨を報告した。全員の賛同を得て、早速準備に取り掛かるよう事務局に指示があった。

3. 報告調整事項

「防災訓練実施報告」「東北経産局主催の講演会講演報告」「各団体イベント等への参加確認」ほか1項目、計4項目が了承された。

◆47期生2年目移行試験を受けました◆

ミャンマー出身の47期生8名の10月1日にて焼津市小川公民館で技能評価試験初級の試験を受けました。

今年1月22日入国した47期生はすぐ2年目に移行の準備時期に入り、現行制度の初級技能評価試験を受けました。8名の内、節類製造は6名、調味加工品製造は2名で、試験後の総評では全員が合格の可能性が大きいと感じました。結果発表は10月30日です。合格者全員は技能実習の2年目へ移行ができ、通算3年間日本で実習活動ができます。



8名の実習生は団地中で積極的に実習へ取り組み、受入れ企業より大きな期待を寄っております。後2年間の実習で更なる成長を楽しみにしております。

◆外国人防災セミナー 実習生が参加◆

9月29日(日) 焼津市消防防災センターにて、焼津市在住・在勤の外国人の為

の防災セミナーが開催されました。

当日は市内の企業から外国人実習生約50名が参加し、加工団地からは実習生8名が自主的に名乗りを上げて参加しました。

人種はミャンマーをはじめ中国、ベトナム、ネパールなど

6カ国の皆さんが地震発生メカニズムの座学に始まり地震体験、風水害体験や防災用品の使い方、そしてAEDの使い方や消火器を用いた消火訓練、怪我人の搬送法等を学び5時間という長丁場でしたが皆真剣に取り組んでいました。

また、昼食は非常用の炊き出し器で作ったご飯やみそ汁を試食し避難所生活のイメージを高めました。

参加した実習生からは「アパートに帰ったら、さっそく後輩たちに伝えます」といった声を聞く事ができ、頼もしく感じました。

◆工団連視察研修会に参加◆

当組合を含む、全国の工場団地を統括する団地組合を構成員とする全国工場団地協同組合連合会(本部・東京)にて年一回開催される「事務局専従役員研修会」が、



このほど岐阜県美濃加茂市にて開催され、当組合からも1名出席した。

今回のテーマは「団地組合のBCP」として、専門家からBCPに取り組み着眼点や考え方のレクチャー、独立行政法人中小企業基盤整備機構から防災・減災に役立つ支援メニューの紹介、商工中金からBCPを関連させた経営課題への解決取組についてのレクチャーといった座学が一日目に行われ、二日目には隣接の可児市にある可児工業団地協同組合を視察させていただき、BCPや防災への取り組みについて紹介された。

可児工業団地は中小企業を対象とする団地（Ⅱ高度化集団組合）28社のほか、大企業を含む一般応募企業が20社ある、非常に大きな工場団地であるが、2010年に団地のすぐそばを流れる可児川が氾濫、同市内で死傷者を出す災害があったこともあり、団地としての防災、或いはBCPへの取り組みも熱を帯びたものであったという。更には、地元行政・中央会からも様々な協力を得てBCPを策定し、毎年改善を施している。

当組合でもBCPを策定しているが、随時更新・改善していかなければならない。また、通常業務とリンクする形でBCP更新ができるシ



ステムを作ることが肝要と専門家も話していた。非常に身になる研修であった。

◆管理者養成学校に参加して◆

業務管理部

池ノ谷 丈



私は9月下旬に管理者養成学校に研修に行ってきました。

管理者養成学校は、テレビやインターネットでもとてめめしい研修のある施設だと有名で当組合職員からも実際にいった感想を聞いていたので少し戸惑い気味でした。いざ研修が始まると予想通りの厳しさで、少しでも声が小さかったり、掃除の甘い箇所があると徹底的に注意されました。早朝から起きて五時半からラジオ体操をし、挨拶、返事、社会人としてのマナーや心構えを集中的に学びました。研修を進めていく中で、自分は社会人としての基礎が出来ていなかった、仕事に取り組み姿勢をもう一度見直す必要があることに気が付きました。管理者養成学校では、携帯も没収され、テレビも見ることができません。

今の現代で3日間も携帯やテレビを目にしない事はほぼないに等しいと思います。そんな中でこのような環境に身を置くことで、自分により真つ直ぐに向き合え、本当に自分に必要なものが見えてくる気がしました。

この経験を元により一層団地に貢献出来る人間になっていきます。

◆新入職員のご紹介◆

技能実習生受入室

テットウンウー



初めまして、2019年9月から焼津水産加工センター実習生受入室に配属になりました。テットウンウーと申します。年齢は33歳、出身はミャンマーです。趣味は旅行をすることです。毎年連休を使って日本国内旅行を楽しんでいます。

2008年3月に来日し、2016年には日本語能力試験のN1の資格を取得できました。仕事の方では先輩から多くのことを教わりながら、1日でも早く仕事に慣れるように一生懸命頑張らせて頂きます。いろいろとご迷惑をかけてしまうことがあると思いますが、ご指導の方よろしくお願い致します。

◆インフルエンザ予防接種のお知らせ◆

今年も11月5日、6日の2日間、組合事務所二階でインフルエンザの予防接種を実施致します。

問診票にご記入頂き、ご持参下さい。よろしくお願ひ致します。



§ 2019年(1~8月月計)の輸出入

※輸出はFOB 価額、輸入はCIF 価額

※財務省貿易統計データより

<輸 出>		2019年		2018年	
		数量 t	価額 (千円)	数量 t	価額 (千円)
フィリピン	インドネシア	13,003	1,782,150	20,812	3,379,789
		1,119	199,361	591	100,513
		775	106,442	1,051	185,869
計		15,184	2,141,947	23,622	3,876,024

<輸 入>		2019年		2018年	
		数量 t	価額 (千円)	数量 t	価額 (千円)
インドネシア	ベリレーズ	19,212	2,968,613	9,894	1,782,546
		543	78,370	1,659	212,657
		423	50,827	23	1,459
計		21,192	3,254,063	16,825	2,725,468

FOB (Free on board)

買手の指定した本船に商品を積み込むまでの費用を売り手が負担する条件

CIF (cost, insurance and freight)

買主指定の輸入港までの運賃と保険料を付け加えた条件

東京市場ドル円		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2018年	高値	113.18	110.29	106.99	109.49	111.39	110.90	113.14	112.15	113.67	113.34	114.21	113.82
	安値	108.51	105.55	104.64	105.70	108.36	108.73	110.27	109.78	110.39	111.69	112.40	110.00
	月末仲値	108.79	107.37	106.24	109.35	108.70	110.54	111.01	111.06	113.57	113.26	113.47	111.00
2019年	高値	109.87	111.13	112.01	112.24	110.85	108.70	108.99	109.32				
	安値	107.52	108.73	109.70	110.88	109.15	106.78	107.22	104.46				
	月末仲値	108.96	110.87	110.36	112.28	109.57	107.79	108.64	106.46				

冷凍かつお月末在庫量	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019年(単位:t)	24,786	23,733	22,475	24,152	26,527	24,516	26,186	28,293					200,668



カツオ

情報

§ 国内主要漁港市場の水揚 (2019年1~8月計)

※水産庁統計データ
産地水産物流通統計より

<生カツオ>	2019年		2018年		前年比%	
	数量 t	単価	数量 t	単価	数量	単価
<生カツオ>	30,083	295 円	36,658	284 円	82%	104%
<冷カツオ>	134,863	173 円	139,804	195 円	96%	89%
<カツオ合計>	164,946	195 円	176,462	213 円	93%	92%

§ 焼津水揚 (2019年1~9月累計)

※焼津漁業協同組合統計データ
取扱高対比表より

<1本釣カツオ>	2019年		2018年		前年比%	
	数量 t	単価	数量 t	単価	数量	単価
<1本釣カツオ>	12,455	223 円	10,729	257 円	116%	87%
<巻網カツオ>	61,712	145 円	64,346	168 円	96%	86%
<カツオ合計>	74,167	158 円	75,075	181 円	99%	87%

団地見学者のご紹介



富士宮市立大富士小学校
の皆さん



島田市立第一小学校
の皆さん

今月の1枚



秋らしい綺麗な夕日です